



2020年10月30日

各 位

会 社 名 焼津水産化学工業株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 山田 潤  
 コード番号 2812 (東証1部)  
 問 合 せ 先 経 理 部 長 大 勝 利 昭  
 T E L 054-202-6044

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月11日に公表した2021年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせ致します。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期 第2四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	6,500	50	50	0	0.00
今回修正予想(B)	7,150	300	311	176	14.35
増減額(B-A)	650	250	261	176	
増減率(%)	10.0	501.5	522.2	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	7,631	448	477	244	19.94

(2) 2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	13,000	100	150	50	4.07
今回修正予想(B)	13,500	330	350	150	12.21
増減額(B-A)	500	230	200	100	
増減率(%)	3.8	230.0	133.3	200.0	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	14,921	823	886	316	25.79

## 2. 修正の理由

2021年3月期 第2四半期累計期間につきましては、連結売上高は前連結会計年度における不正表示問題の影響や新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの、当初計画に対し注力素材であるアンセリンで機能性表示食品の新規採用が進んだほか、利益面においては売上構成の変化に伴い利益率の改善が見られたことや一部の経費発生が第3四半期以降にずれ込んだことから、営業利益、経常利益は前回発表予想を上回る見通しであります。更に親会社株主に帰属する四半期純利益は、「品質関連損失」計上額が一部の取引先からの損害賠償金請求が第3四半期以降にずれ込んだ影響もあり前回発表予想を上回る見通しとなりました。なお、「品質関連損失」は2019年9月11日及び同年11月18日に公表した不正表示製品への対応に関する損失であります。

また、通期業績につきましては、新型コロナウイルスの影響は先行き不透明であり業績への影響を予測することは困難であります。第3四半期以降の見通しとして調味料セグメントの売上低迷及び第3四半期以降にずれ込む経費、「品質関連損失」等の要因があるものの、上記の通り第2四半期連結累計期間までの業績が前回予想を上回ることが見込まれることから、通期についても前回発表予想を上方修正いたします。

配当金につきましては、前回予想の通り1株当たり24円（第2四半期10円、期末14円）を予定しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上